

4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (4 / 9 時)

教師と児童のやり取りの詳細

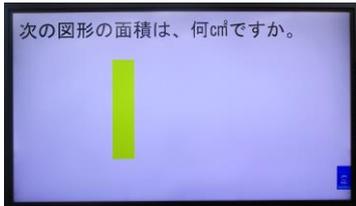
つかむ段階において、前時の学習内容を想起させながら問題提示を行い、面積を求めることができる図形を基に、問題を解決するための見通しをもたせる場面。

※前時の復習をさせながら、本時の問題を提示していく。



(電子黒板の画面を提示して) 次の図形の面積は何cm²でしょう?

※始めは図形を隠して、少しずつ見せていき、最後に辺の長さを示す。



※左から見せていく例

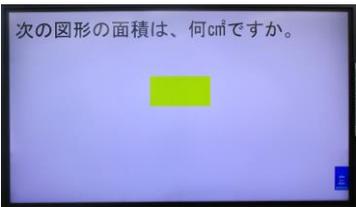


正方形? いや、長方形?

長方形の面積は、 $5 \times 7 = 35$ で 35 cm^2 です。



公式を使って求めることができますね。次はどうでしょう?



※上から見せていく例

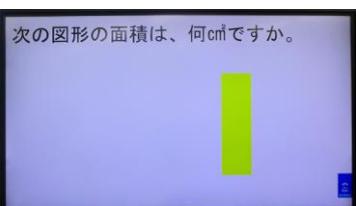


また、長方形? ではなくて正方形? 1 辺の長さは何cmですか?

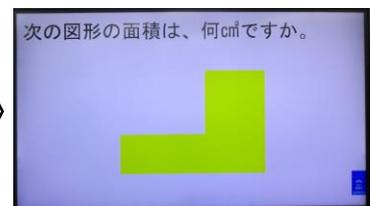
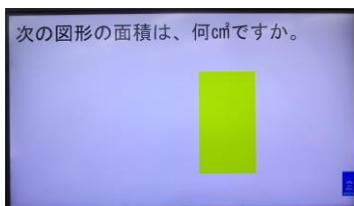
1 辺が 3 cm ということは、正方形の面積は、 $3 \times 3 = 9$ で 9 cm^2 です。



辺の長さを表す数に着目することができますね。では、もう 1 問。



※右から見せていく例



長方形? いや、正方形? まだ隠れてそうですね。あれ?

何ですか、この形は! どうやって求めればいいのか?

長方形や正方形にすれば、できるかもしれません。



・既習事項の確認をしたり、問題提示の仕方を工夫したりすることで、児童が問いを見いだしたり、見通しをもったりすることができるようにしていきます。



「どうやって」と言う友達と「できるかも」と言う友達がそれぞれいるみたいですね。では、めあてはどうしましょうか？（児童の言葉を基に、めあてを板書する）

め 階たん型の面積の求め方を考えよう。



どうやって求めるとよいか見通しをもつことができますか？

はい！もっています。求めることができそうです。



いや、まだ、どうやって求めればいいのか、まだ…



では、何の図形だったら面積を求めることができますか？

長方形や正方形だったら面積を求めることができます。



（電子黒板の図を指して）長方形や正方形を使って、この図形の面積を考えることができますか？



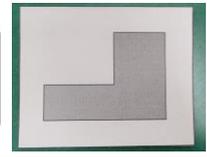
あ！長方形を使って、考えることができそうです。



考え方が幾つかありそうです。



みなさん、考え方が1つではないそうですよ。このような問題の図形のプリントを用意しています。1つ目ができたら、他にも考えてみてください。では、面積を求めてみましょう。



このままでは求められません。辺の長さが必要です。



必要な長さは自分で測って、プリントの図形に書き込みましょう。そして、どうやって求めたのか、長方形や正方形をどう使ったのかなども、分かるようにかいておくと説明しやすいと思います。では、考えてみましょう。

・問題から本時で考えることを捉えたり、解決の見通しをもったりすることが難しい児童もいます。自力解決で自分の考えがもつことができるように、児童の実態を把握したり、既習事項との関連付けを図ったりすることが大切です。児童が、公式を使って面積を求めることができる長方形や正方形を、複合図形に見いだすことができるようにしていきましょう。